

による災害の名称として好ましくないとして、2004年新潟県中越地震以降、色々な名称がマスコミ等で用いられるようになったが、国土交通省では河道閉塞の名称を用いている。15カ所の内9カ所で直轄砂防災害関連緊急事業が実施された（61.7億円）が、これらは、緊急に河道掘削を実施する箇所（市野々原地区、浅布地区、小川原地区）、待ち受け施設を確保する箇所（産女川地区、温湯地区）、早急な対応が非常に困難な箇所（湯ノ倉温泉地区、湯浜地区、沼倉地区）に分けられている。図2.3.5および図2.3.6に代表的な河道閉塞現場を示す。



図 2.3.5 市野々原地区⁸⁾



図 2.3.6 湯ノ倉温泉地区⁸⁾

参考文献

- 1) 気象庁：平成20年6月 地震・火山月報（防災編）、pp. 38-56、2008
- 2) 気象庁：「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」について（第4報）
- 3) Aoi, S., Kunugi, T., and Fujiwara, H. (2008): Trampoline effect in extreme ground motion, *Science*, Vol. 322, pp. 727-730
- 4) 消防庁災害対策本部発表、平成20年11月17日
- 5) 内閣府発表、平成21年3月18日
- 6) <http://www1.gsi.go.jp/geowww/saigaikiroku/0806-iwatemiyagi/image/gaiyou.pdf>
- 7) 土木学会、地盤工学会、日本地震工学会、日本地すべり学会合同調査団、岩手・宮城内陸地震速報会における宮城豊彦教授の発表資料、2008.6.20
- 8) 土木学会平成20年度全国大会、2008年岩手・宮城内陸地震の被害および復旧に関する報告会資料